

みんなの「なんな～の?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)

信 毎 こ ど も 記 者 ニ ュ ー ス

発行/信毎こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南栗町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.20

2010年1月にスタートした「信毎こども記者クラブ」は、2年目に入りました。今年みんなで取り組む年間テーマは「たんけん 信濃の国」です。長野県の県歌「信濃の国」の歌詞

をたどりながら、取材教室などで各地を訪ねます。今月号は、昨年ひと足早くクラブメンバーが取材してくれた信濃の国のリポートを特集します。



2011年1月1日付正月新聞特別号(別刷り)「たんけん 信濃の国」といっしょに読んでね
○ページ数は正月新聞のページ数だよ

信 毎 こ ど も 記 者 ク ラ ブ 今 年 の テ ー マ は 「 た ん け ん 信 濃 の 国 」

母校の佐久市岸野小学校で走り方のレッスンをしてくれたよ

上野裕一郎選手を取材したこども記者の感想

「たくさん練習したら、たくさん食べよう」と言っていました。ぼくもたくさん食べて好き嫌いしないようにがんばりたい。(松本聖也記者・6年)

上野選手は(小学生の時)毎朝、誰よりも早く学校へ来て走っていたことが、特に印象に残っています。(木内梨加記者・6年)



岸野小学校のこども記者たちと走り方のレッスンを教える上野選手

上野選手は「なんでもがまん」と言っていました。ぼくもきらいな勉強をがまんしようと思いました。(石田大和記者・4年)

苦しかった時、自分はいくら練習したんだという自信を持って走っているのが、すごいなあと思いました。(池田美優記者・5年)

93% 信濃の国 6番
佐久市 生懸命に学ばなければ、昔の人に劣るはずがありません
みち一筋に学ばなければ、昔の人に劣るはずがありません

81% 信濃の国 4番
本町温泉 多くの人を訪れる浅間温泉(または美ヶ原温泉)
くる人多き 筑摩の湯

信 濃 の 国 の い ま を 取 材 し よ う !

浅間温泉のシンボルマーク
丘古ふんです。この古ふんはまんじゅう形で、ここで中学生が発見した金のかんむり、浅間温泉のシンボルマークになっています。もう一つは「じさ・ばさ石」。二つの丸い石で、そこを伸のいい人達が通ると、別れるといわれていました。石の一つは工事でこわれてしまいました。昔の物がたくさんあり、歴史好きのぼくにはとても印象に残る場所でした。



歴史深い温泉地

1番に残った所は「桜ヶ丘古ふん」です。この古ふんはまんじゅう形で、ここで中学生が発見した金のかんむり、浅間温泉のシンボルマークになっています。もう一つは「じさ・ばさ石」。二つの丸い石で、そこを伸のいい人達が通ると、別れるといわれていました。石の一つは工事でこわれてしまいました。昔の物がたくさんあり、歴史好きのぼくにはとても印象に残る場所でした。

信州大学の留学生といっしょに浅間温泉を探検したよ!



温泉街には公衆浴場が数軒あります

ベルギーの国旗→

外国人と話したよ

御代田町4年 小平羽流記者

外国人と話をしたよ。(ベルギー人の)オリビエさんに歩いてのかんそうをきいたら「しぜんがすばらしい」と言ったよ。フアヒムさんは「バンクラデシユでは)神はみぢかにいるから、(神社が山の中など)はなれてあるのがびつくりした。(キルギス人の)アイヌラさんは「みなさんと楽しい時間をすごせてうれしかったです」と言いました。いっしょに歩いて外国語を少しおぼえられて、うれしかったです。



温泉街を歩きながら地元の人から石畳や土間の歴史について話を聞きました

江戸時代初めは胴繰り、江戸時代終わりには牛首といった機械が使われてきました。明治時代に日本で使われていた機械は、フランス式繰糸機と岡谷でつくられた諏訪式座繰機です。岡谷では、フランス式より安い費用でフランス式と同じ働きをする諏訪式の機械を作れたので、岡谷の製糸業は発展して日本一になりました。諏訪のものづくり精神は今も昔も変わらないのかもしれない。

繭を作る昆虫・蚕が食べる桑の葉→

諏訪のものづくり精神

諏訪市6年 奥山もえぎ記者

約1200メートルの糸からできています。その繭の糸を5、6本合わせて生糸ができます。繭から糸をうまく巻き取ったり、より合わせた糸の太さを均一にするために、昔からいろいろ工夫がされてきました。

日本を支えた岡谷の絹の歴史について取材したよ!



生糸をつくる江戸時代の手動の機械

79% 信濃の国 3番
岡谷市 養蚕も盛んになり、養蚕農家は小規模ながらも信濃の国の命に力を与えています
蚕繭の業の打ちひらけ細きよすがも軽からぬ国の命を繋ぐなり